

整備や点検が必要なわけ

整備士と接点持ってほしい

そもそも、自動車の整備や点検はなぜ必要なのでしょう。「逆に定期的なメンテナンスをしていなかったらどうということになるのか、考えてもらいたい」。三交モータース商会登木自動車工場（秋田市）の新田悟店長はこう言います。



自動車の整備や点検の重要性について説く新田店長

まず留意したいのは、整備不良に起因する車両事故発生の可能性です。多いのはタイヤやホイールの脱輪。整備を怠ったことが事故の原因になった場合、車の使用者は責任を問われることになるばかりでなく、歩行者や他の車両を巻き込み、取り返しのつかない重大な結果を招くことにもなりかねません。

仮に走行不能となるような状態まで車を放置し修理を依頼しても、半導体など必要な部品が海外からなかなか入ってこなかったり、現場の人手不足で迅速な対応が難しかったりということもあります。「整備工場によっては代車の数も限られている。結

果的に使用者が困るというケースが顕著になってきた」と新田店長。

費用対効果という視点も重要です。例えばエンジンオイルの交換をしないまま運転し続けていると、エンジンの焼き付きなどの重大なトラブルを起こすこともあります。一つの故障が別の故障の原因になることもあるでしょう。定期的に点検に出していれば、料金も時間も最小限にとどめることができるということを心に留めておく必要があります。

新田店長は「長く愛車に乗ってもらうためにも、まずはわれわれ整備士と接点を持ってもらいたい。われわれの



新品のエンジンオイル

こうなる前に交換

立場で言えば、入庫履歴と整備履歴が分かれば対応も早い」と助言します。

自動車整備士

自動車の点検、修理、調整、分解、組み立てを行い、自動車の仕組みや整備に関する法令などの専門知識と技術を備えた人材。整備士は資格に応じて1～3級と、「特殊」の4種類に分けられるほか、自動車検査（車検）を行う「自動車検査員」という国家資格もある。

INTERVIEW

「故障原因の究明、喜びもひとしお」



三交モータース商会登木自動車工場
自動車整備士主任
保坂 陽介 さん

若いときから車やバイクが好きでした。カッコよさに引かれたのが最初で、次第に仕組みが気になりました。自動車整備士の仕事に携わる原点だったかなと思います。中古車販売店や整備工場などでの勤務を経て、現在の三交モータースに勤めてから7年になります。整備士2級と自動車検査員の資格を持っています。

よく例えられる話ですが、整備士の仕事は医者に近いのかなと思います。いつ具合が悪くなるか分からないのが人間ですし、車も決まったタイミングで故障するという

ものではありません。体調の異変を自覚していなくても、定期検診で病気の早期発見・治療につながることもあるように、車も車検や定期点検で早めに不具合を見つけることが大事です。

心掛けているのは、お客さんに寄り添うこと。飛び込みで修理依頼に来られるお客さんも少なくありませんが、それだけ困っているということの裏返しでもあります。できる限り迅速に対応するようにしています。電気自動車や自動運転の普及など、自動車業界は日進月歩でもあります。新しい技術を習得し、情報を収集する努力も大切です。

お預かりした愛車をお返しした時の、お客さんの喜ぶ顔を見るのは本当にうれしいですね。われわれ整備士にとっては簡単

な作業でも、お客さんにとってはどうすればいいのかわからないということもあります。故障の原因が分からず、頭を抱えてしまうこともあります。そういう難しいケースほど解決したときはうれしいです。この仕事のやりがいであり醍醐味（だいごみ）であると思います。

私は車が好きでこの仕事を選びましたが、整備士の仕事に興味はあるのに自らハードルを上げて尻込みをしている人もいるように思います。同僚には以前お肉屋さんだった人もいます。整備士の仕事に限った話ではありませんが、大切なのは分からないことを分からないままにしないという姿勢ではないでしょうか。この業界には頼りになる仲間がたくさんいます。ぜひ飛び込んでほしいですね。